

春期課題

古典文法より 動詞・形容詞・形容動詞

問題一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(一)下線部A～Jまでの動詞の種類と活用形を答えなさい。

記号	動詞	活用	行	活用	種類	活用形
A	具せ	サ	行	変格活用	未然	形
B	あつ	ラ	行	変格活用	連用	形
C	着せ	サ	行	下二段活用	連用	形
D	並ぶる	バ	行	下二段活用	連用	形
E	かかつ	ラ	行	四段活用	連用	形
F	聞か	カ	行	四段活用	未然	形
G	取つて返す	サ	行	四段活用	連用	形
H	朽ちせ	サ	行	変格活用	未然	形
I	落つる	タ	行	上二段活用	連用	形
J	死な	ナ	行	変格活用	未然	形

(二)波線部①～⑨の動詞の活用表を完成させよ。

番号	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令
①	い	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ
②	持	た	ち	つ	づ	て	て
③	落	ろ	ろ	つ	づ	ち	ち
④	〇	へ	へ	ふ	ふる	れ	よ
⑤	聞	え	え	ゆ	ゆる	れ	よ
⑥	〇	え	へ	ふ	ふる	れ	よ
⑦	申	ま	ま	す	する	せ	せ
⑧	あ	ろ	り	り	る	れ	れ
⑨	見	え	え	ゆ	ゆる	れ	よ

(三)下線部ア～ウの「せ」で文法上、異なるものを記号で答えなさい。

問題二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(一)「①」「②」「③」「④」を「なし」を括弧に入れて活用させて入れなさい。

- ① (なし) ② (なま) ③ (なりぬ) ④ (なれぬ)

() 了 ()

(二)波線部①～⑭までの動詞の種類と活用形を答えなさい。

記号	動詞	活用	行	活用	種類	活用形
①	思ひ	ハ	行	四段活用	連用	形
②	経る	ハ	行	下二段活用	連用	形
③	往き	カ	行	四段活用	連用	形
④	あり	ラ	行	変格活用	連用	形
⑤	給へ	ハ	行	四段活用	已然	形
⑥	せ	サ	行	変格活用	未然	形
⑦	住ま	マ	行	四段活用	未然	形
⑧	離れ	ラ	行	下二段活用	連用	形
⑨	据ゑ	ワ	行	下二段活用	連用	形
⑩	侍る	ラ	行	変格活用	連用	形
⑪	思さ	サ	行	四段活用	未然	形
⑫	言へ	ハ	行	四段活用	已然	形
⑬	見	マ	行	上二段活用	未然	形
⑭	往ぬ	ナ	行	変格活用	終止	形

(三)本文から形容詞のシク活用を抜き出し、その活用形も答えなさい。

ただし、解答欄の数と形容詞の数は必ずしも一致しない。

- (賤しがる) 未然形 (親しま) 連体形
- (珍しけれ) 已然形 (つるも) 連体形
- (悲しけれ) 已然形 () 連体形

問題三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(一)本文の中から形容動詞を抜き出し、またその活用形も答えなさい。ただし、解答欄の数と形容詞の数は必ずしも一致しない。

- (背やか) 連用形 (清け) 連用形
- (はつかり) 連用形 () 連体形
- () 連用形 () 連体形

(二)「①」「②」「③」に入る言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。
ア.ことに イ.さまこと ウ.心ことに

① () ウ () ② () イ () ③ () 了 ()

(三)波線部一～八の活用形をそれぞれ答えなさい。

- 一(連用形) 二(連用形) 三(終止形)
- 四(連用形) 五(連体形) 六(連体形)
- 七(連用形) 八(未然形)

春期課題く漢文編く

○送り仮名をつけよう！

問題一「送り仮名」について、次の問いに答えなさい。

(二) 次の漢文に()内の読み方に従って、送り仮名をつけなさい。

① 國破^レ山河在^リ。(国破れて山河在り。)

② 天高^ク馬肥^ユ。(天高く馬肥ゆ。)

③ 月明^{クニ}星稀^{ナリ}。(月明らかにして星稀なり。)

④ 去^ル者日^ニ以^テ疎^シ。(去る者は日に以て疎し。)

⑤ 母曰^ク、今蛇安^カ在^{トハ}。(母曰く、今蛇安くにか在るとは。)

⑥ 衆人皆醉^イ、我獨醒^{メタリ}。(衆人皆酔い、我独り醒めたり。)

⑦ 行^キ行^キ重^ネ行^キ行^ク。(行き行きて重ねて行き行く。)

⑧ 相去^ル日^ニ已^ニ遠^シ。(相去ること日に已に遠し。)

⑨ 道路阻^ク且^ツ長^シ。(道路阻しく且つ長し。)

⑩ 大器^ハ晚^ク成^ル。(おおくなるうつははおそくなる。)

(二) 次の漢文に、()内の読み方に従って送り仮名をつけ、傍線部の漢字には振り仮名もつけなさい。

② 江碧^{クニ}鳥愈^ハ白^シ。(こうみどりにしてとりいよいよしろし。)

③ 來^ル時月^ハ上^リ弦^{ナリ}。(きたるときつきはじょうげんなりき)

○ 返り点をつけよう！

問題二「返り点」について、次の問いに答えなさい。

(二) 次の二字熟語に、()内の読み方に従って、レ点と送り仮名をつけなさい。

① 入^ル門 (門に入る) ② 讀^ム書 (書を読む)

③ 握^ル手 (手を握る) ④ 登^ル山 (山を登る)

⑤ 架^ル橋 (橋を架ける) ⑥ 碎^ク氷 (氷を砕く)

(二) 例に倣って、□に数字を入れ、読む順番を示しなさい。

例 □² □¹ □³

① □¹ □³ □² ② □² □¹ □³ □⁴

③ □¹ □³ □² □⁴ ④ □¹ □² □⁴ □³

⑤ □³ □² □¹ □⁴ ⑥ □² □¹ □⁴ □³ □⁵

⑦ □¹ □³ □² □⁵ ⑧ □² □¹ □³ □⁵ □⁴ □⁶

⑨ □² □¹ □⁴ □³ □⁶ □⁵ ⑩ □¹ □³ □² □⁶ □⁵ □⁴

(三) 次の漢文に、()内の読み方に従って、レ点と送り仮名をつけなさい。

① 其ノ知ハ如シ神ノ。(其の知は神の如し。)

② 隔^{チラ}靴^コ搔^ク痒^{ヤキ}。(靴を隔てて痒きを搔く。)

③ 人^ニ無^ク有^ル不^ル善^{ナラフ}。(人に善ならざるもの有ることなし。)

(人に善ならざるもの有ることなし。)

④ 不^レ知^ラ所^ヲ終^{ワル}。(終わる所を知らず。)

⑤ 穴^{ホリテ}土^ヲ爲^ス居^ト。(土を穴ほりて居と為す。)

⑥ 少年^ニ易^ク老^イ学^シ難^シ成^リ。(少年老い易く学成り難し。)

(少年老い易く学成り難し。)

(四) 例に倣って、□に数字を入れ、読む順番を示しなさい。

例 □³ □¹ □²

① □³ □¹ □² □⁴ ⑥ □³ □¹ □² □⁴ □⁵ □⁶

② □⁴ □¹ □² □³ ⑦ □³ □¹ □² □⁶ □⁴ □⁵

③ □¹ □⁴ □² □³ ⑧ □⁶ □¹ □² □⁵ □³ □⁴

④ □³ □¹ □² □⁴ □⁵ ⑨ □⁵ □⁶ □¹ □⁴ □² □³

⑤ □¹ □⁴ □² □³ □⁵ ⑩ □⁵ □³ □⁴ □¹ □² □⁶

(五) 次の漢文に()内の読み方に従って、一・二・三…の返り点と送り仮名をつけなさい。

① 治^{ムル}國^ヲ家^ヲ。(国家を治める。)

② 今日吾見^{タリ}兩頭ノ蛇^ヲ。(今日吾兩頭の蛇を見たり)

(今日吾兩頭の蛇を見たり)

③ 知^ル仲^ニ有^ル老母^一也。(仲にも老母有るを知らばなり。)

(仲にも老母有るを知らばなり。)

④ 早晚重^{ネテ}來^リ此ノ地^ニ遊^{バン}。(早晚重ねて此の地に来たりて遊ばん。)

(早晚重ねて此の地に来たりて遊ばん。)

⑤ 治^{ムル}天^ヲ下^ヲ五十年。(天下を治むること五十年。)

(天下を治むること五十年。)

⑥ 有^ル恒産^者、有^リ恒心^一。(恒産有る者は恒心有り。)

(恒産有る者は恒心有り。)

問題三 「一・二点」と「レ点」について、次の問いに答えなさい。

(一) 次の□の中の読む順序を示す数字に従って、レ点、一・二・三点をつけなさい。

① □³ □¹ □² □⁷ □⁶ □⁵ □⁴

② □⁷ □¹ □³ □² □⁴ □⁵ □⁶

③ □⁶ □¹ □² □⁵ □³ □⁴ □⁸ □⁷

④ □⁶ □⁵ □¹ □² □³ □⁴ □⁷ □⁸

⑤ □⁷ □¹ □² □³ □⁷ □⁵ □⁶ □⁸

(二) 次の漢文に、()内の読み方に従って、レ点、一・二・三点の返り点と送り仮名をつけなさい。

① 擧^ゲ頭^ト望^ム山^ノ月^ヲ。(頭を擧げて山月を望む。)

② 宋人^ニ有^リ耕^レ田^ヲ者^一。(宋人に田を耕す者有り。)

(宋人に田を耕す者有り。)

③ 連^{ネテ}六^ノ國^ヲ以^テ事^ス秦^ニ。(六国を連ねて以て秦に事へしむ。)

(六国を連ねて以て秦に事へしむ。)

④ 施^ス惠^ニ百^ノ姓^ニ。(百姓に恵みを施す。)

⑤ 褰^ゲ衣^ヲ步^テ月^ノ踏^ム花^ノ影^ヲ。(衣を褰げ月に歩いて花影を踏む。)

(衣を褰げ月に歩いて花影を踏む。)

⑥ 飲^ミ酒^ヲ至^{ルモ}數^ノ斗^ニ不^レ醉^ハ。(酒を飲み数斗に至るも酔はず。)

(酒を飲み数斗に至るも酔はず。)

問題四 「一レ点」について、次の問いに答えなさい。

(一) 次の□の中に数字を入れて、読む順番を示しなさい。

① □⁴ □¹ □³ □² □⁵ ② □⁵ □¹ □² □⁴ □³ □⁶

③ □⁶ □¹ □² □³ □⁵ □⁴ ④ □⁵ □⁴ □¹ □³ □² □⁶

⑤ □¹ □⁸ □² □³ □⁷ □⁴ □⁶ □⁵

⑥ □⁶ □⁵ □¹ □² □⁴ □³ □⁷ □⁸

(二) 次の漢文に、()内の読み方に従って、返り点と送り仮名をつけなさい。

① 但^ダ覓^ム梨^ト與^フ栗^ト。(但だ梨と栗とを覓む。)

② 謂^フ之^ヲ水^ニ不^レ勝^タ火^ニ。(之を水、火に勝たずと謂ふ。)

(之を水、火に勝たずと謂ふ。)

③ 客^ニ有^リ過^ル主^ノ人^ニ者^一。(客に主人に過る者有り。)

(客に主人に過る者有り。)

問題五 「上・中・下点」と「上レ点」について、次の問いに答えなさい。

(一) 次の□の中に数字を入れて、読む順番を示しなさい。

① □⁷ □⁵ □⁴ □¹ □² □³ □⁶ □⁹ □⁸

② □¹ □² □⁹ □⁵ □³ □⁴ □⁸ □⁶ □⁷

③ □⁶ □³ □¹ □² □⁵ □⁴ □⁷

④ □⁷ □⁴ □¹ □² □³ □⁶ □⁵ □⁸

(二) 次の漢文に、()内の読み方に従って、返り点と送り仮名をつけなさい。

① 楚^ノ人^ニ有^リ鬻^グ盾^ト與^フ矛^ト者^一。(楚人に盾と矛とを鬻ぐ者有り。)

(楚人に盾と矛とを鬻ぐ者有り。)

② 有^リ以^テ千^ノ金^ヲ涓^ム人^ヲ求^ム千^ノ里^ノ馬^ヲ者^一。(千金を以て涓人をして千里の馬を求めしむる者有り。)

(千金を以て涓人をして千里の馬を求めしむる者有り。)

③ 請^フ以^テ十^ノ五^ノ城^ヲ易^フ壁^ニ。(十五城を以て壁に易へんことを請ふ。)

(十五城を以て壁に易へんことを請ふ。)

④ 客^ニ有^リ獻^{スル}酒^一器^ヲ者^一。(客に醇酒一器を献ずる者有り。)

(客に醇酒一器を献ずる者有り。)

次の白文に返り点、句読点をつけ、意味が通じるようにしなさい。

楚^ニ有^リ祠^者、賜[、]其[、]舍^人卮^酒。舍

人相^謂曰^ク「数^人飲^レ之^ヲ不^レ足^ラ、一

人飲^ス之^ヲ有^リ余^リ。請^フ画^キ地^ニ為^リ蛇^ヲ先^ニ成^ル者

飲^{マシ}酒^ヲ。一^人蛇^先成^ル引^キ酒^ヲ且^ニ飲^{マシ}

之^ヲ。乃^チ左^手持^チ卮^ヲ、右^手画^キ蛇^ヲ曰^ク、

「吾^能為^ラ之^ヲ足^ヲ未^ダ成^ラ、一^人之^蛇

成^ル奪^ヒ其[、]卮^ヲ曰^ク「蛇^固無^ク足^{。子}安^ク

能^ク為^ラ之^ヲ足^ヲ。遂^ニ飲^ム其[、]酒^ヲ。為^ル蛇^ノ足^ヲ

者^終亡^ク其[、]酒^ヲ。

『戦国策』「蛇足」